

新フェロー紹介 (2019年)

フェローは、オペレーションズ・リサーチの研究と発展に多大なる貢献をなされた方に、その功績を称えて贈られる称号です。新フェロー7名の方が理事会で以下のとおり選ばれました。フェロー記は、2019年3月15日の春季研究発表会（千葉工業大学）にて贈呈されました。

平井 広志 (ひらい ひろし) 氏



昭和53年7月生まれ

【学歴】

平成16年3月 東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻修士課程修了

平成21年7月 博士（理学）京都大学

【職歴】

平成16年4月～19年3月 京都大学数理解析研究所 助手

平成19年4月～22年10月 京都大学数理解析研究所 助教

平成22年11月～26年3月 東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻 講師

平成26年4月～現在 東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻 准教授

【OR学会関連】

平成16年 第22回学生論文賞受賞

平成17～19年 数理計画研究部会（RAMP）幹事

平成21年 第4回文献賞奨励賞受賞

平成26年 春季研究発表会実行委員

平成26年 第4回研究賞受賞

平成27年 第27回RAMPシンポジウム セッションオーガナイザー

平成30年 60周年記念論文賞受賞

平井氏は、離散最適化の理論とアルゴリズム、そして、関連する離散数学の研究に取り組み、当該分野の専門誌に採択されている。平成26年には、多品種フローの研究によって本学会研究賞を受賞している。平成30年には、離散凸解析の論文により本学会60周年記念論文賞を受賞している。また、研究部会の幹事や学会・シンポジウムの実行委員を務めるなど本学会に貢献している。

増山 博之 (ますやま ひろゆき) 氏



昭和50年12月生まれ

【学歴】

平成16年 京都大学大学院情報学系研究科数理工学専攻博士後期課程短期修了（博士(情報学)）

【職歴】

平成16年 京都大学大学院情報学系研究科システム科学専攻 助手

平成19年 同 助教

平成26年 同 准教授

【OR学会関係】

平成17年 「若手OR研究者の会」研究部会 幹事

平成18～19年 「若手OR研究者の会」研究部会 主査

平成19年 第2回文献賞奨励賞受賞

平成20年 春季研究発表会実行委員

平成22～23年 「待ち行列」研究部会 幹事
 平成24～27年 研究普及委員
 平成26年 第4回論文賞受賞
 平成26年～現在 関西支部運営委員
 平成28年～現在 論文誌編集委員
 平成29年 秋季研究発表会実行委員
 平成29年 第7回研究賞受賞

【著書等】

英文学術誌掲載論文46本、発表多数

増山氏は、応用確率論を専門とし、特にマルコフ解析と待ち行列モデルの理論研究によって、本学会研究賞、論文賞、文献賞奨励賞、待ち行列研究部会論文賞などを受賞された。また、近年では、待ち行列ゲームや、最適化法を利用したマルコフ連鎖の数値計算、極値統計による発見的解法の性能評価など、「確率・統計、ゲーム理論、最適化」にまたがる学際的な研究を展開している。

後藤 順哉 (ごとう じゅんや) 氏



昭和48年8月生まれ

【学歴】

平成13年 東京工業大学大学院社会理工学研究科経営工学専攻博士後期課程修了(博士(工学))

【職歴】

平成13年 筑波大学社会工学系 講師

平成16年 同大学システム情報工学研究科 講師

平成19年 中央大学理工学部 准教授

平成27年 同大学理工学部教授、現在に至る

【OR学会関係】

平成20～24年 論文誌編集委員

平成20～24年 代議員

平成21～24年 「計算と最適化の新展開」研究部会 幹事

平成27～29年 国際理事

平成29年 第7回研究賞受賞

平成31年 第31回RAMP数理最適化シンポジウム プログラム委員長

後藤氏は金融工学、機械学習といった応用を主たる対象とし、連続最適化モデリングの研究に取り組み、著作論文の多くは国際学術専門誌に採択されている。また複数の国際学術誌の編集委員を務めるほか、本学会関係では金融や機械学習の数理最適化に関連する一連の研究を対象に研究賞を受賞したり、研究部会の幹事や論文誌編集委員、国際理事等を務めたりするなど、さまざまな形で活躍・貢献している。

福村 聡 (ふくむら さとし) 氏



昭和28年1月生まれ

【学歴】

昭和50年 東京大学工学部計数工学科卒業

昭和52年 東京大学大学院工学系研究科計数工学科修士課程修了

【職歴】

昭和52年 川崎製鉄(株)(現JFEスチール(株))入社

昭和61年 同社 システム部システム研究室主任研究員

平成15年 JFEスチール(株) IT総括部主任部員

平成17年 JFEシステムズ(株)に転籍
平成19年 同社 執行役員
平成24年 同社 取締役常務執行役員
平成25～28年 (兼) JFEコムサービス(株) 代表取締役社長

【OR学会関係】

平成 4～6年 会員対策委員
平成28～30年 副会長

福村氏は、鉄鋼製造・管理プロセスにおけるORおよびAIによる問題解決に従事し、その活用・普及に尽力した。平成28年からは本学会副会長に就任し、資産活用委員会委員長として「初学者向け啓蒙ポスター作成」「OR専攻学生向けインターン募集・就職説明会情報発信Webサイト提供」「企業向け共同研究相談窓口の設置」「書籍情報共有のためのTwitterアカウント構築」など大学と企業そしてその周辺を繋ぐための仕組み作りに貢献した。

諸星 穂積 (もろほし ほづみ) 氏



昭和39年11月生まれ

【学歴】

平成11年 博士(工学) 東京大学

【職歴】

平成元年 東燃(株)入社
平成 7年 東京大学工学部 助手
平成12年 政策研究大学院大学 助教授
平成20年 同教授

【OR学会関係】

平成18～21年 論文誌編集委員
平成20～23年 代議員
平成23～24年 研究普及理事

諸星氏はシミュレーションのための確率的アルゴリズムと政策研究におけるORモデリングなどについて研究を行ってきた。また、学会の理事、編集委員、研究部会主査、研究発表会実行委員などを務め、学会活動に貢献してきた。

渡辺 隆裕 (わたなべ たかひろ) 氏



昭和39年6月28日生まれ

【学歴】

平成元年 東京工業大学理工学研究科経営工学専攻修士課程修了
平成 8年 博士(工学)

【職歴】

平成元年 東京工業大学工学部社会工学科 助手
平成10年 岩手県立大学総合政策学部 助教授
平成14年 東京都立大学経済学部 助教授

平成17年 首都大学東京都市教養学部経営学系 教授
平成30年～現在 首都大学東京経済経営学部 教授

【OR学会関係】

平成20～21年 庶務幹事
平成20～24年 論文誌編集委員

平成21～23年 庶務理事

平成26～28年 会計理事

この他、研究発表会実行委員、公益法人化等問題検討委員などを歴任

渡辺氏はゲーム理論の研究を長く続け、純粋戦略均衡が存在するゲームのクラスに関する研究から、オークションや競馬に関する研究まで、理論と応用に関する幅広い論文を国内外の専門誌に掲載している。著書の『ゼミナールゲーム理論入門』（日本経済新聞社、2008）は、ゲーム理論の代表的なテキストとして一般に広く知られている。本学会ではORセミナーのオーガナイザーや研究部会の主査を務めるとともに、庶務理事、会計理事、論文誌編集委員などを歴任し、特に公益法人等問題検討委員として学会の公益法人化に対して大きく貢献した。

鈴木 勉（すずき つとむ）氏



昭和39年9月生まれ

【学歴】

昭和62年 東京大学工学部都市工学科卒業

平成元年 同大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了

平成7年 博士（工学）（東京大学）

【職歴】

平成元年 （財）電力中央研究所 研究員

平成8年 筑波大学社会工学系 講師

平成15年 同大学社会工学系 助教授

平成17年 同大学大学院システム情報工学研究科 教授

平成23年 同大学システム情報系社会工学域 教授、現在に至る

この間、アルバータ大学（カナダ）客員研究員、漢陽大学校（大韓民国）客員教授

【OR学会関係】

平成12年～28年 IAOR委員

平成19年～現在 国際委員

平成19～21年 国際理事

平成20～24年 論文誌編集委員

平成25～27年 研究普及理事

平成27年～現在 「地域課題解決のOR」研究グループ 主査

平成28年～現在 表彰委員

その他、研究発表会実行委員など

鈴木勉氏は、都市計画、立地科学、交通計画、防災計画、地域エネルギー、地球環境、地理情報科学など広範にわたる分野において、ORの手法に基づいた都市モデル分析に関する数多くの業績を上げている。これらの業績により、日本応用数理学会論文賞、日本都市計画学会年間優秀論文賞、地理情報システム学会学会賞などを受賞するとともに、地方自治体との共同研究にも積極的に携わってきている。また、本学会では各種委員や2期にわたる理事を務め、現在は研究グループの主査を務めるなど、学会運営においても貢献している。